

# 自治会や町内会の衰退とその対応は

佐藤 信男議員



非常に重要な根幹をなす問題だ  
市長

**問** 地域協働の空洞化の状況は。

**答** 近年、生活圏の拡大により、居住している地域への愛着やコミュニティへの参加意識が薄れ、地域の担い手不足、高齢化により空洞化が進んでいると考えている。

**問** 地域コミュニティの機能の強化を意識した取り組みは。

**答** 活動拠点となる集会所の修繕、備品の購入、

地区行事の運営費等に対する助成。また、意見交換の場として、愛西市コミュニティ連絡協議会を立ち上げた。

**問** 自治会加入率は、把握しているか。

**答** 把握していない。ただし、総代から自治会の未加入・脱会の問題について相談を受けることはある。



▲活動拠点となる集会所(永和公民館)



▲活動拠点となる集会所(市江地区コミュニティセンター)

**問** 自治会加入促進条例などを検討し策定したらどうか。

**答** まずは、自治基本条例を周知していく。

**問** 多くの自治会が、共通して抱かえる課題を解決するために、自治会運営のマニュアルを策定したらどうか。

**答** 総代会で、配布する町内会・自治会ガイドブックに、自治会加入促進に関することや、自治

会運営に必要な事項を追加する。今後、ガイドブックの充実を図っていく。

**問** 自治会や町内会の衰退とその対応は。

**答** 基礎自治体としては、非常に重要な根幹をなす問題だ。コミュニティ・自治会・町内会は、市民が理解をして、自ら活動に加入し、参加をすべきと考えている。